

ちはと学級 生活単元学習 指導案

本時（43/55）

（1）ねらい

- ・店員をするときの態度やお客さんに対する言葉遣いを知る。
- ・対応の仕方を考えながら、販売の学習を楽しむ。
- ・品物とお金との受け渡しを経験し、お金の意味と扱い方について理解を深める。

（2）使用するアプリ

計算機

（3）学習指導過程

			Aグループ	Aグループ
			A児	B児
		本時の個別の目標	・相手に丁寧に挨拶やお礼の言葉を伝える。 ・お金のやり取りを通して販売の仕組みを知る。 ・計算機を用いて、お釣りの計算を行うことができる。	・相手に丁寧に挨拶やお礼の言葉を伝える。 ・お金のやり取りを通して販売の仕組みを知る。 ・計算機を用いて、お釣りの計算を行うことができる。
		本時の個別の評価	・販売活動に必要な言葉を店員としての態度を考えて伝えることができたか。 ・おつりの計算を間違えずに行うことができたか。	・販売活動に必要な言葉を店員としての態度を考えて伝えることができたか。 ・おつりの計算を間違えずに行うことができたか。
	○学習活動	・留意点 ○評価	★個別に行う支援	★個別に行う支援
導入	○本時のめあてを知る。	・めあてを板書する。	★話し手に目を向けるように促す。	★意見がある場合には、話し手が話し終わるのを待つよう声掛けを

冬野菜販売会をしよう。

①ていねいに ②元気に ③落ち着いて

	・店員としての接客態度と話し方を確認する。 ・受け取ったお金の扱い方と、お釣りを求める手立てを確認する。	・めあてが理解しやすいように、短い言葉で板書する。 ・演技を交えて実際例を見せることで、お客さんが受ける印象を考えられるようにする。(正しい接客態度の必要性)		する。
展 開	○3グループに分かれ、交替しながら販売練習をする。 ○3グループに分かれ、交替しながら販売をする。 ・参観者に自由にお客さんになっていただく。 ・全員で閉店の挨拶をする。	・グループ毎に短時間で実践練習ができるようにする。 ・グループによってお金のやり取りを制限するため、買い手に分かりやすいようにレジ前に表示する。 ・自身をもって接客できるように、接客語形を見やすく掲示する。 ・児童の実態に応じて、教師が寄り添い、対応表の見方や、お釣りの計算方法などを確認しながら進めるようにする。 ・お金の取り扱い時に児童が、紛失したりしないように注意する。 ○これまでに学習したことを用いて、接客を行う。(関心・意欲・態度) ・全員で閉店の挨拶をすることで、お客さんに対する感謝の気持ち	★レジの手順を確認する。 ★お金の扱い、計算は慌てず丁寧に行うよう声掛けをする。 ★金銭の計算が正しくできているか目視し、間違えた場合は声掛けを行う。 ★お客さんに顔を向けて接客をするように声掛けをする。	★レジの手順を確認する。 ★お金の扱い、計算は慌てず丁寧に行うよう声掛けをする。 ★金銭の計算が正しくできているか目視し、間違えた場合は声掛けを行う。 ★お客さんに顔を向けて接客をするように声掛けをする。 ★ペアの児童の状態により、販売活動が続けられなくなった場合は、レジ「休止」の札を立てるように促す。

		を伝えられるようにする。 ○お客さんに感謝の気持ちを伝える。(関心・意欲・態度)		
終 末	○活動を振り返る。 友達のよかったところ次回に向けての改善点を話し合う。	・挙手して発表させる。 ・参観者にもお客さんとしての正直な感想をいただき、児童への励みや、本番への改善に繋げられるようにする。	★発言する際は挙手をするように声掛けをする。	★発言する際は挙手をするように声掛けをする。

	Aグループ	Aグループ	Bグループ	Bグループ	Cグループ	Cグループ
	C児	D児	E児	F児	G児	H児
本時の個別の目標	・相手に丁寧に挨拶やお礼の言葉を伝える。 ・お金のやり取りを通して販売の仕組みを知る。 ・計算機を用いて、お釣りの計算を行うことができる。	・相手に丁寧に挨拶やお礼の言葉を伝える。 ・お金のやり取りを通して販売の仕組みを知る。 ・計算機を用いて、お釣りの計算を行うことができる。	・相手に丁寧に挨拶やお礼の言葉を伝える。 ・お金のやり取りを通して販売の仕組みを知る。	・相手に聞こえるように挨拶やお礼の言葉を伝える。 ・お金のやり取りを通して販売の仕組みを知る。	・相手に挨拶やお礼の言葉を伝える。 ・丁寧に金銭のやり取りを行う。	・挨拶やお礼の言葉を進んで言うことができる。 ・丁寧に金銭のやり取りを行う。
	・販売活動に必要な言葉を店員としての態度を考えて伝えることができたか。 ・おつりの計算を間違	・販売活動に必要な言葉を店員としての態度を考えて伝えることができたか。 ・おつりの計算を間違	・販売活動に必要な言葉を店員としての態度を考えて伝えることができたか。 ・おつりの計算を間違	・販売活動に必要な言葉を相手に聞こえるように考えて使うことができたか。 ・おつりの計算を間違	・販売活動に必要な言葉を伝えることができたか。 ・100円玉、50円玉、100円玉を間違え	・販売活動に必要な言葉をすすんで使うことができたか。 ・100円玉、50円玉、100円玉を間違え

	えずに行うことができたか。	えずに行うことができたか。	えずに行うことができたか。	えずに行うことができたか。	ずに行うことができたか。	ずに行うことができたか。
導入	★話し手に目を向けるように促す。	★話し手に目を向けるように促す。		★話を聞けるように、着席を促す。	★話をしっかり聞けるように、話し手に目を向けるよう促す。	★話をしっかり聞けるように、話し手に目を向けるよう促す。
展開	★レジの手順を確認する。 ★お金の扱い、計算は慌てず丁寧に行うよう声掛けをする。 ★金銭の計算が正しくできているか目視し、間違えた場合は声掛けを行う。 ★お客さんに顔を向けて接客をするように声掛けをする。	★レジの手順を確認する。 ★お金の扱い、計算は慌てず丁寧に行うよう声掛けをする。 ★金銭の計算が正しくできているか目視し、間違えた場合は声掛けを行う。 ★お客さんに顔を向けて接客をするように声掛けをする。 ★店員を続けるのが難しいような態度が見られた場合は、持ち場で販売活動を見ておくように促す。 ★教室にいることが難しいと感じた場合でも自分の判断で教室を出ないように声を	★レジの手順を確認する。 ★お金の扱い、計算は慌てず丁寧に行うよう声掛けをする。 ★計算が正しくされているか目視し、間違えた場合はやり直すように促す。 ★ペアの児童の状態により、販売活動が続けられなくなった場合は、レジ「休止」の札を立てるように促す。	★販売中に使う言葉を確認する。 ★レジの手順を確認する。 ★支援者と一緒に、お客さんに聞こえる声で挨拶やお礼の言葉を言うよう促す。 ★おつりの計算を正しくする。 ★店員を続けるのが難しいような態度が見られた場合は、持ち場で販売活動を見ておくように促す。 ★教室にいることが難しいと感じた場合でも自分の判断で教室を出ないように声を掛けておく。	★販売中に使う言葉を「言葉カード」で確認する。 ★10円玉、50円玉、100円玉を正しくレジの絵に置くよう練習する。 ★挨拶やお礼の言葉を伝えるときに「言葉カード」を見せて発言を促す。 ★お金を正しくレジの絵に置いているかを目視し、間違えた場合はやり直すように促す。 ★大きく崩れそうな様子が見られた時には、イヤーマフをつける、あやとりの時間を設ける。	★10円玉、50円玉、100円玉を正しくレジの絵に置くよう練習する。 ★お金を正しくレジの絵に置いているかを目視し、間違えた場合はやり直すように促す。 ★お客さんに顔を向けて挨拶ができるように声を掛ける。 ★レジの手順を忘れているときは、その都度確認する。

		掛けておく。			販売活動が続けられなくなった場合は、支援者がレジ「休止」の札を立てる。	
終末	★発言する際は挙手をするように声掛けをする。	★発言する際は挙手をするように声掛けをする。		★発言できそうであれば、挙手するよう促す。	★発問が理解できていないようであれば、かいつまんで説明する。 ★支援者から発言につながる言葉をいくつか提示する。	★発問が理解できていないようであれば、かいつまんで説明する。 ★発言できそうであれば、挙手するよう促す。

	Dグループ	Dグループ	Dグループ	Dグループ
	I 児	J 児	K 児	L 児
本時の個別の目標	・お客さんとのやり取りを楽しむことができる。 ・丁寧にお金のやり取りを行う。	・挨拶やお礼の言葉を進んで言うことができる。 ・丁寧にお金のやり取りを行う。	・相手に聞こえるように挨拶やお礼の言葉を伝える。 ・お金のやり取りを通して販売の仕組みを知る。	・挨拶やお礼の言葉をすすんで言うことができる。 ・10円玉の数を間違えずにやり取りすることができる。
	・販売活動に必要な言葉をすすんで使うことができたか。 ・10円玉でのやり取りを間違えずに行うことができたか。	・販売活動に必要な言葉を使うことができたか。 ・10円玉でのやり取りを間違えずに行うことができたか。	・販売活動に必要な言葉を相手に聞こえるように考えて使うことができたか。 ・10円玉の扱いを素早く行うことができたか。	・販売活動に必要な言葉を使うことができたか。 ・10円玉を正しく数えられたか。
導入	★話をしっかり聞けるように、体を話し手に向けるよう促す。	★話をしっかり聞けるように、話し手に目を向けるよう促す。		

展開	★１０円玉を丁寧に扱うことを伝え、特に９０円１００円など数の大きい値段のやり取りを練習する。 ★レジの手順を忘れているときは、その都度確認する。 ★慌てず丁寧に言うように声を掛ける。 ★立ち歩きが見られそうな時は「今はお店屋さんの時間だよ。」と伝え、自分の持ち場を離れないように促す。	★販売中に使う言葉を確認し、大きな声で言うように促す。 ★レジの手順を忘れているときは、その都度声を掛け、行動に移せるように促す。 ★お客さんの方を見て、言葉かけができるように促す。	★９０円１００円などの数の多い値段のやり取りを練習し、素早くやり取りできるようにする。 ★お客さんに聞こえる声で元気に挨拶するよう促す。 ★「お客さんが待ってるよ。」など、相手意識をもてるよう声掛けをする。 ★車椅子の操作で困っているときは支援をする。	★１０円玉を数えて、正しくレジの絵に置くように促す。 ★レジの手順を忘れているときは、その都度確認する。 ★１０円玉の数を間違えないように目視し、間違えた場合はやり直すように促す。 ★お客さんに顔を向けて挨拶ができるように声を掛ける。
終末	★発問が理解できていないようであれば、かいつまんで説明する。 ★座ったまま発言した場合は、挙手するよう促す。	★発問が理解できていないようであれば、かいつまんで説明する。 ★発言できそうであれば、挙手するよう促す。	★発言を促す。	★発問が理解できていないようであれば、かいつまんで説明する。